



ピンクリボン運動の広がりに期待を寄せる松浦さん

気軽に参加できる社会貢献活動



# キリンビバレッジの飲料を買って乳がん対策の一助に 広がるピンクリボン自販機

自動販売機を通じてさまざまな社会貢献活動を展開しているキリンビバレッジ。その一環として乳がんの早期発見、早期診断、早期治療を促す啓発活動「ピンクリボン運動」を支援しており、十勝でも専用自販機の設置が進んでいます。北海道キリンビバレッジ帯広支社長の松浦隆通さんに、事業趣旨や現状などを聞きました。取材・文／森田匡彦

松浦さんは「今は20人に1人が乳がんになるといわれる時代。乳がん検診をもっと多くの人に受けてほしいですね」と強調。「ピンクリボン自販機の利用を通じて、気軽に運動に参加してもらえれば」と呼び掛け、同支社としても啓発イベント参加などさらに運動推進を支援していく考えです。

北海道でも昨年より配置されるようになり、十勝では帯広市内の4医療機関（協立病院、北斗病院、北斗クリニック、第二病院）で設置。道内のピンクリボン自販機設置台数は2010年9月末までで22台に上り、寄付金は全国で300万円を超えています。

運動の趣旨に賛同し、その活動の周知に協力しようと、同社が取り組みを始めたのは2008年9月。専用デザインの自販機が首都圏で初めて設置され、その動きは全国に広がっていききました。「設置先の協力も得て、毎月の売上金の2%を日本対がん協会（ほほえみ基金）へ寄付しています」と松浦さん。自販機は、ピンクの本体にリボンのイラストをあしらった、ひととき目を引くスタイル。パネル部分にピンクリボンデザイン大賞のポスター部門最優秀賞作品なども掲示し、ビジュアル面からも運動啓発に協力しています。



十勝に4台、  
売上金の一部を寄付

メディアカル

## 「早期発見が何より大切！」ピンクリボン自販機設置医療機関に聞く

### ◆帯広第一病院

保健師  
栗田満美さん



乳腺外来（乳腺を専門に治療や検査を行う外来）を設けた翌年の2009年から、ピンクリボンキャンペーンを独自に展開しています。今年2回目、ピンクリボン運動月間の10月に合わせ、市民を対象にした乳がん勉強会や特別料金での乳がん検診を行っています。また、検診収入の一部は寄付しています。

### ◆北斗病院・北斗クリニック

主任看護師  
中村栄子さん



2009年9月に乳腺外来（乳腺を専門に治療や検査を行う外来）を設置しました。その前年から、乳がんの最新情報に関するセミナーを開催しています。初めての取り組みとして今年、乳がん検診割引予約券の取り扱いを始めました。自分のことは後回しにしがちな奥様に、ご主人から贈ってはいかがですか？

### ◆協立病院

看護課長  
菊地淳子さん



2006年に乳腺外科を開設し、乳がん治療に力を入れています。乳がんは自分で見つけることが可能で、しかも早期に発見すると治せる病気でもあります。来院された方には自己検診の方法についてアドバイスをさせてもらっています。年に1度の乳がん検診に加え、月に1度は自己検診を心掛けてください。

取材協力／北海道キリンビバレッジ帯広支社 帯広市依田町18 ☎0155・20・5911

紅茶葉の  
おいしいとこだけ。  
贅沢に。

KIRIN

100%  
リーフ

新・午後の紅茶

MILK TEA  
STRAIGHT TEA  
LEMON TEA

のんだあとはリサイクル  
北海道キリンビバレッジ株式会社 <http://www.beverage.co.jp>